

今日、日本音楽学校を卒業される141名の皆さん、誠におめでとうございます。同窓会の正副会長をはじめとして、ご来賓の方々のご列席の下に、理事長、教職員、及び学校関係者の皆さんとともに諸君の門出をお祝いでできることは、私の最も喜びとするところであります。

また、この旅立ちの式にご参列下さいました卒業生のご両親、ご家族、関係者の方々にも、心からお慶び申し上げます。

今日の式辞では、「西欧化」と「櫻花」についてお話したいと思います。

まず最初にみなさんに問いたい。仕事としての教育や保育はどこに特徴があるのでしょうか。よく、幼児教育は子どもの命を預かる大変な職業であるとか、人間の一生を左右する時期の支援であり、最も重要な仕事であるという発言を耳にします。

どの仕事も同じように難しいし、奥が深い。どの仕事も命や感性や精神に強いかわりを持っています。そういう共通理解に立ってそれぞれの仕事の特徴を考えなければなりません。

子どもは確かに崇高である。だからと言って、保育が崇高であるとは必ずしもいえません。

仮に、保育という仕事が崇高であるとしても、その仕事に従事する人が崇高だとは言えないでしょう。

こんな話を始めたのは、保育の世界に専念しながらも、出来る限り外の世界の空気を吸って、社会人として多様なものの見方を身につけてほしいからです。保育の現場で求められるのは、子どもに対する健全な理解と深い愛情であることは間違いありません。しかし、それだけでは保育の本質にたどり着くことは出来ないと思います。

保育者こそ、人間とは何かという問いに答えられなければなりません。保育は小手先の、近視眼的な愛情や哲学で行なうことは出来ないからです。

A子さんに、保育とは何かと質したところ、次のような答えが返ってきました。「保育は日々成長していく子どもたちに触れ、毎日何かしら成長し、進歩し、新しい発見の感動があります。子どもの成長とともに歩み、そこに喜びがあります。それが保育士のやりがいであり、魅力です。人を育てる仕事は、教えられることも多く、逆に、自分も共に学び、成長する機会に恵まれるすばらしい仕事です」と。

見事な答えです。しかし、どこか西洋の教育観からの借り物に思えてならないのは私だけでしょうか。あまりにポジティブで、合理的な思考が勝ちすぎていませんか。

教育に合理主義を取り入れ、多様な制度やシステムを作ったのは西洋の文化です。アジアの多くの国にとって

近代化とは西欧化で始まりました。そろそろ私たちは自由、平等、民主主義などという言葉の魔術から目覚めなければなりません。

合理主義的な教育は西洋の国、すなわちアジアから見れば歴然と階級社会を今なお残している国、年収が300万円の労働者と年収が10数億円の企業経営者が混在している国、他所の国の彫刻、絵画、陶器などの芸術作品を自分の国に持ち帰り、ミュージアムという形で保持することを正当化する国、そういう西洋の国から生まれたのです。

近代の子育ての理論と制度も西洋の国から誕生しました。そして、急速に日本へ輸入され、私たちは優れた考え方だと思い込み、日本の伝統的な考えと取り替えてしまったのです。日本人は日本のよさを見失ってしまったのです。

西洋的な職業観、子育て観であると繰り返し述べてきましたが、日本的でないことの証をあげましょう。

「紺屋（こうや）の白袴」といって、「人のためにばかり忙しくて、自分のことをする暇がない、自分のことは二の次に考える」のが私たちの仕事観であります。仕事を通して学ぶという概念はありません。

「這えば立て、立てば歩めの親心」と子どもの成長を過剰に願う親がいれば、「親はなくとも子は育つ」と育児を放棄する親もいました。「親はなくとも子は育つ」という表現は、「子どもの生きるたくましさ」を賞賛した言葉ではなく、「大人の身勝手さ」を非難した言葉であり、成長を愛でる以上に、「怒りと悲しみ」がにじんでいることばに違いありません。

西洋的な子育て観ではなく、家族という単位の子育ての姿が浮かんできます。

「人を育てる仕事は、教えられることも多く、逆に、自分も共に学び、成長する機会に恵まれるすばらしい仕事です」というのは本当でしょうか。

学びについて、「論語」では「学びて思わざれば即ちくらし」と論じています。学ぶだけで考えなければ何も分からないということです。学ぶということは少なくとも人間の生き方、存在と向かい合う勝負事なのです。仕事も同じく勝負事であり、自己犠牲の世界なのです。

24、5歳のときの修業を評して、世阿弥はこう言っています「このころの花こそ初心と申すころなるを、窮めたるやうに主の思いて、至りたる風体をする、あさましきことなり。」。つまり24、5歳の輝きは素人の輝きに過ぎない。しかし一人前になったかの態度はあさましい、と言っているのです。

学校を卒業して、即役に立つ職業人を日本は元来求めてこなかったのです。

昨年度の「流行語大賞」は荒川静香の「イナバウア」と「品格」という言葉でした。残念ながらイナバウアではなく、品格について語ります。「品格」という言葉は御茶ノ水大学の藤原正彦先生が『国家の品格』という本をお

書きになり、ベストセラーになり、一躍人の知るところとなりました。弱気な日本人、欧米化された思考にゆれる日本人に活を入れる鋭い文明論・国家論であり、日本人に誇りと自信を、すなわち日本人らしい品格を与えてくれる本だと評されました。

『国家の品格』に次のような一節があります。「例えばいじめがあるとします。するとすぐに、みんな仲良く、などと言う。実に分かりやすい。しかし、少しでも社会生活を送った人間なら、みんな仲良くなんか出来るわけがないと分かっている。どんな組織だって嫌なやつらだらけです。右を見ても左を見ても嫌なやつ。そういう自分が一番嫌な奴。それが普通なのです。

最近では、いじめがあるからといって、学校にカウンセラーを置いたりする。論理的で分かりやすい。これはアメリカの方が先で、たくさんの学校にカウンセラーとかスクール・サイコロジストがいる。でもいじめは減らない。」

国が品格を保つために、教育、福祉、厚生、医療、法律などのいろいろな分担を決めて、それを職業として作り出してきたのです。カウンセラーや弁護士は欧米に多いのは、問題解決の分担化をする伝統のある国だからであって、進んでいるからではないのです。ところが私たちは、欧米にはカウンセラーや弁護士が日本の数倍から数十倍いると統計から学び、こういう人間や社会のねじれた部分や、こじれた部分、病んだ部分を受け持つ人が多い社会を先進国と考えるような価値観を身につけてしまっています。その「おかしさ」にみんなが少しずつ気づき始めています。だから、吉本のタカアンドトシの「欧米化」があのように笑いを取ることが出来るのではないのでしょうか。

いま多くの人が日本を語るとき、経済力の強い日本、科学技術に優れた日本と並べて、近代化のプロセスで置き去りにしてきた「日本古来の心」に言及することが多くなりました

桜が日本の精神や美意識のシンボリック的存在であることは皆さんも了解なさるでしょう。桜が咲けば、精神が高揚するし、花や木に対する感性が微妙に揺れ動きます。私たちが愛するのは、満開の桜の花の静謐な美と、春風に髪を振り乱す狂人のように惜しげもなく花びらを乱舞させて散る桜の木の潔さと恐ろしさではないのでしょうか。

藤原先生はこうも書いています。「桜の花は、ご存知のように本当にきれいなのはたった3、4日です。しかも、そのときをじっと狙っていたかのように風や嵐が吹きまくる。それで「アアア」と思っているうちに散ってしまう。日本人は3、4日の美しさのために、あの木偶の坊のような木を日本中に植えているのです。」

毛虫がつき、枝がねじれ、肌がささくれたち、花が咲かなければ薪にしたくなる木です。たった3、4日に命を掛けて咲き、潔く散っていく桜花に私たちは人生を投影して眺めるからに違いありません。

桜の美しさ、散り際の潔さは、子どもの天性そのものではないのでしょうか。満開に咲いた桜は3、4日後の嵐で自分たちが散ることになると知っているのでしょうか。

子どもは幼年期の短い期間を過ぎると、桜の花が散るときと同じ勢いで、一気に手のかかる悪がきに変わります。

すが、子どもはそのことを知っているのでしょうか。桜の花のあでやかさは、幼児の天真爛漫さとまったく同じです。

私たちは桜の花に、人生の移ろいを見、幼児のあどけなさの短さを投影してみるのではないのでしょうか。はかないものへの限りない愛着が私たちの子ども観、人間観の根底になっているのではないのでしょうか。

どうか改めて桜の花と幼児に対峙して私の考えを確認してください。桜の花が咲くころには、諸君は不慣れで、厳しい仕事環境の中で、思考が停止した状態で働いているかもしれません。しかし桜だけは見てください。東京の今年の桜の開花は、3月18日だそうです。

最後のエピソードになりました。

私たちが6年前から他校に先駆けて取り組みをはじめた授業評価、TA、実践センター、HP、AO入試、補習授業、教育の自己点検・評価、教員の研究の進めなど、いまでは多くの学校が同じような改善を取り入れ始めました。もはや日本音楽学校が先進的であると語ることが出来なくなりつつあります。

幸いなことにまだ二つのアドバンテージが残っています。

一つは、諸君の先輩たちの活躍と母校愛です。皆さんを含めてここ2、3年、受験者のうちの4分の1の方が本校の卒業生、在校生に薦められたから受験しましたと語ってくれます。東京、神奈川、千葉、埼玉の4県には約3400人の保育者を目指す学生がいます。そのうちの75分の1の学生が本校の卒業生や在校生の推薦でこの学校を目指してくれているのです。この比率が年々増加しています。どうかみなさんも、私たちの教育内容や姿勢をシビアに評価し、納得した上で本校に優秀な後輩を積極的に紹介してください。

もう一つは、教育理念の第二の柱が誕生しつつあります。本校の教育理念は「音楽、舞踊、造形、ことば、ドラマなどの教育による表現コミュニケーション能力の育成」であることは周知の通りです。私たちは、昨年「芸術セラピー」という学問の基礎を学んでもらい、セラピー・マインドをもった保育者を育成する教育プログラムを開始しました。これが第二の教育理念の柱です。セラピーとかヒーリングとか癒しということばは流行していますが、なかなか学習の中身が見えてきません。是非、本校がその先鞭を付けたいと考えています。『国家の品格』の中の表現を借りると、「惻隠」こそセラピーの基本姿勢と言えるでしょう。惻隠とは弱者、敗者、障害されたもの、虐げられたものへの思いやりです。

私たちは惻隠を、即ちセラピー・マインドを二つ目の柱としてカリキュラムのなかにおいたことを覚えて置いてください。

卒業生の皆さん、立派になられました。誠実に働いて、未来を切り開いてください。

勉強は一生続けるものです。

私たちも努力します。ごくごく近い将来、日本音楽学校は大きく変身し、新しい姿を見せるかもしれません。桜が咲くたびに、母校・日本音楽学校へ立ち寄ってください。



## 平成18年度 卒業生

3月8日(木)三浦記念ホールにて日本音楽学校卒業式が行われ、保育士コース20名、保育士・幼稚園教員コース121名、合計141名の卒業生が巣立っていきました。

表彰された方は次の方々です。

答辞・優秀賞：女池 明子  
優等賞：若林 敦子  
技能優秀賞：菅原 貴司  
全国幼稚園教員養成機関連合会表彰：佐藤 孝枝  
全国保育士養成協議会表彰：藤井 知子  
児童厚生員養成課程連絡協議会表彰：馬場 浩平

## 学生アドバイス・オフィス

アドバイス・オフィスでは、学生たちの悩みや解決できない問題を一緒に考え、問題を解決するための考え方、方法、手段をアドバイスします。専門家に相談してみると簡単に解決できるかもしれません。個人情報には絶対に漏れることはありません。下記まで気軽に申し込んでください。

[advice.nichion@docomo.ne.jp](mailto:advice.nichion@docomo.ne.jp) または、  
**090-2557-1844**

【スタッフ】 亀井 哲宏 富岡 麻由子  
三澤 裕見子 杉本 信  
児島 智美 小林 志郎

## オーストラリア研修旅行より 帰国しました！

参加学生23名、校長先生をはじめ教員5名が、3月10日(土)に成田を出発し、シドニー、メルボルンに滞在しました。現地で姉妹校、姉妹園で学生や園児たちと交流し、3月16日(金)に無事帰国しました。スピーチ、プレゼンテーション、出し物など、コツコツと準備してきたその成果は？どのような体験をしたのでしょうか？

次号のキャンパスニュースで、学生の体験談を掲載予定です。

## 平成19年度 入学生

保育士コース 10名 (男子3名・女子7名)  
保育士・幼稚園教員コース 45名 (男子17名・女子28名)  
55名 (男子20名・女子35名)

## 学生傷害保険

本校では、学生全員が入学時に学生傷害保険に入っています。学校管理下におけるケガや事故に対し、2年間保障されており、次の項目において適用されます。

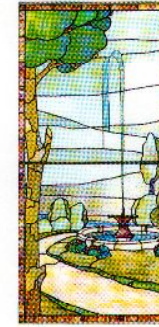
- \* 本人がケガをしたことによる通院、入院または死亡した場合
- \* 他人にケガをさせたり、過って器物を破損した場合

ケガをした時、させた時はすぐに教務課まで連絡してください。

## 来年度入学希望者対象説明会

平成20年度に向けた第1回学校説明会を、5月12日(土)に行います。学生の皆様が後輩や友人など、身近に受験を控えている人がいましたら、是非参加を勧めてください。(日程が変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。)

開催予定日	種別
5/12(土)	Let's 授業 (第1回)
6/9(土)	Let's 入試 (第1回)
7/14(土)	Let's 授業 (第2回)
8/4(土)	オープン・キャンパス (第1回)
8/26(日)	オープン・キャンパス (第2回)
9/8(土)	Let's 授業 (第3回)
10/13(土)	Let's 入試 (第2回)
11/10(土)	Let's 授業 (第4回)
12/8(土)	Let's 授業 (第5回)
1/12(土)	Let's 授業 (第6回)



学園記念ホール  
ステンドグラス



## 指導教員

### 幼児教育科

科長 杉本 信  
副科長 穂田 みづほ

### [ホームルーム担当]

保育士コース  
2年+1年 亀井 哲宏  
諸井 泰子  
石塚 広美

### 保育士・幼稚園教員コース

2年1組+1年1組 富岡 麻由子  
杉本 信  
濱野 俊彦

2年2組+1年2組 陸路 和佳  
穂田 みづほ  
並木 真理子

2年3組+1年3組 山本 直樹  
三澤 裕見子  
三小田 美穂子



Information from

Nichi-On

since 1903

—創立104周年—

# The Campus News

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

4月号  
2007. 第127号  
編集発行 学園事務局

## 《4~6月の行事予定》

### 1年生

4/6(金) 入学式  
10(火) 全体オリエンテーション  
11(水)~12(木) 集中オリエンテーション  
13(金) 健康診断  
16(月) 前期授業開始  
25(水)~26(木) 宿泊研修:山梨県西湖  
6/8(金) 実習前授業終了  
11(月)~22(金) 幼稚園観察実習(保幼)  
25(月) 授業再開

### 2年生

4/2(月) オリエンテーション  
(聴力検査・教科書販売含む)  
3(火) 前期授業開始(月曜振替)  
13(金) 健康診断  
25(水)~26(木) 1年生宿泊研修の為休講  
5/22(火) 実習オリエンテーション  
6/1(金) 実習前授業終了  
4(月)~14(木) 保育園実習(保・保幼)  
18(月)~29(金) 幼稚園実習(保幼)  
施設実習(保)  
7/2(月) 授業再開

行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

## [幼児教育実践総合センター]

センター長：諸井 泰子

並木 真理子 富岡 麻由子  
亀井 哲宏 小林 明子  
石塚 広美 佐藤 麻紀子

## 新任教員

専任 濱野 俊彦  
東京学芸大学大学院修  
「造形美術・造形表現指導法」

## 退任教員

講師 馬場 伸子  
谷 関 薫  
藤枝 真  
小椋 比佐子  
齊藤 秀俊

